

令和 8 年度(2026) シラバス

【基本情報】

教 科	理 数	学 年	1	教科書	理数探究基礎 ～未来に向かって～ 改訂版 (啓林館)
科 目	理数探究基礎	単位数	1	副教材	なし
科目の目標	様々な事象に関わり，数学的な見方・考え方や理科の見方・考え方を組み合わせるなどして働かせ，探究の過程を通して，課題を解決するために必要な基本的な資質・能力を身に付ける。				
評価の観点	a．知識・技能		b．思考・判断・表現		c．主体的に学習に取り組む態度
評価の基準	探究するために必要な基本的な知識及び技能を身に付けている。		多角的，複合的に事象を捉え，課題を解決するための基本的な力を養う。問題を解決し，事実に基づいて科学的に判断したことを，言語活動を通じて表現する。		様々な事象や課題に知的好奇心をもって向き合い，粘り強く考え行動し，課題の解決に向けて挑戦しようとする態度を養う。
評価の方法	・学習記録(プリントなど) ・単元テスト ・口頭発表・発言		・学習記録(プリントなど) ・単元テスト ・口頭発表・発言		・学習活動への取組状況 ・提出物等の内容 ・学習記録(プリントなど) ・発言・行動
授業について	(1) 学習記録はその都度プリントなどにまとめる。 (2) 授業資料やプリントなどは紛失しないように保管する。 (3) タブレット PC を使用する場合は授業のプレゼンテーションスライドやグーグルフォームなどの資料や課題を配信して活用する予定です。しっかり取り組んでください。 (4) 「調査・実験・観察・実習」→「結果をまとめる（文章・プレゼンテーション）」→「発表」の流れを意識して授業を受ける。 (5) 実験・実習・観察・調査を行う際は安全に十分注意し指示に従った操作をする。 (6) 活動報告会での発表 ・レポート、ポスター作り ・プレゼンテーション作成 ・報告会での発表				

【年間授業計画】

月	単元	指導目標（学習のねらい）	観点別評価		
			a	b	c
4	第1章 探究の進め方 第1節 探究へのいざない 第1項 探究とは 第2項 課題の設定 第3項 課題の探求 第4章 発表と報告書の作成 第5章 探究に取り組む姿勢 ◎関連する実験活動項目 化基混合物の分離 （基礎実験～予定項目～） ■実験「迷路学習」（教科書） ■種子を分ける（ハトの餌を分ける） ■ダイズ種子の重量分布（正規分布）	・探究の意義や過程，研究倫理の理解 ・化学基礎や地学基礎、教科書第2章探究の事例の実験観察を行い基本的な探究技能と心構えを身に付け探究の流れと記録をまとめる技能を習得する。 ・仮説の設定方法、探究の計画立案について学ぶ。 ☐ オリエンテーション1 h ☐ 基礎実験 2 h *（基礎実験～予定項目～）より実施 ☐ 野外活動（4/22 5,6h）2 h *上川町内を実際に歩いてフィールドワークする。	○	○	○
5	（定期水質調査に向けて） 化基電解質と非電解質（イオン） 化基酸と塩基、pH	・定期水質調査、環境調査の意義を理解し基本的な技能を身に付け調査の流れを理解する。 ☐ 水質調査の意義と基本技能習得 2 h ☐ 土壌調査①～pH、イオン検出～ 1 h ☐ 土壌調査②～土壌生物調査～ 1 h ☐ 第1回定期水質調査（5/27 5,6h）2 h （水生生物微生物の観察調査①）	○	○	○

6	(層雲峡フィールドワークに向けて) 地基教室環境調査(気温・湿度・気圧) 地基地形モデル作成(V字谷、柱状節理)	・層雲峡地域の自然環境や国立公園の存在意義について考える。 ☐ 第2回定期水質調査(6/10 5,6h) 2 h (水生生物微生物の観察調査②) ☐ 層雲峡フィールドワーク①(紅葉谷)総	○	○	○
7	(夏季休業前の活動のまとめ)	・夏季休業前までに行った探究活動、調査の記録を今後の活動・調査・発表に活用できるように整理する。 ☐ 第3回定期水質調査(7/1 5,6h) 2 h (水生生物微生物の観察調査③) ☐ 層雲峡フィールドワーク②総 (大函、流星の滝、銀河の滝) ☐ 活動のまとめ(中間) 1 h	○	○	○
8		☐ 第4回定期水質調査(8/28 5,6h) 2 h (水生生物微生物の観察調査④)	○	○	○
9	(活動報告会に向けて)	☐ 第5回定期水質調査(9/16 5,6h) 2 h (水生生物微生物の観察調査⑤)	○	○	○
10		・探究活動、調査の記録を基に活動報告会で発表に活用できるように文章作成の基本、スライドやポスターの作成、発表の方法を検討する。 ☐ 第6回定期水質調査(10/7 5,6h) 2 h (水生生物微生物の観察調査⑥) ☐ 活動報告会準備 2 h	○	○	○
11		☐ 活動報告会準備 2 h	○	○	○
12		☐ 活動報告会準備 2 h ☐ 活動報告会総	○	○	○
1		☐ 活動報告会反省 1 h	○	○	○
2		☐ 層雲峡フィールドワーク③4 h (大函、流星の滝、銀河の滝)	○	○	○
3		☐ 層雲峡フィールドワークのまとめ 2 h	○	○	○